きこえとことば通信

令和7年9月号
小金井第二小学校
こだま学級
TEL042-385-3327

夏休みが終わっても、まだまだ暑い日が続いていますが、いよいよ2学期がスタートしました。休み中は普段できないことにチャレンジしたり、ゆっくり自分の好きなことに取り組んだり、家の手伝いをしたりして、様々な夏を過ごしたことと思います。子供たちから夏の思い出を聞くのが楽しみです。学校行事も多い2学期。こだま学級でも各校の取り組みについて話題にし、子供たちが主体的に参加できるよう、支えていけたらと思います。保護者の皆様、在籍学級の先生方、引き続き、通級へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

★１学期の全体グループ学習★　７月２日（水）

恒例となったこだま祭りには、５６名の参加があり、「小さな水そう作り」「しゃてき」「スーパーボールすくい」「ねらってコイン」の4つのお店を回って楽しみました。店当番もある３年生以上は、呼び込みをする、スタンプを押す、ルールを説明する、集計するなど、自分の仕事に張り切って取り組んでいました。

★吃音グループ学習★　７月９日（水）

自己紹介、サイレントゲームで和んだ後、事前に集めた「みんなに聞いてみたいこと」に、低・中・高学年に分かれて自分の体験や考えを伝え合いました。「緊張しているときとリラックスしているときではどちらが吃音が出やすいですか？」「どうしてひっかかるのかと聞かれたときにどうしていますか？」などの質問がありました。「みんなで遊ぼう」では、6年生が提案してくれた「Ｙｅｓ・Ｎｏクイズ」を楽しみました。

★聞こえグループ学習★　７月１６日（水）

事前に募集した聞こえや補聴器についての質問「プールや宿泊学習のとき、補聴器はどうしていますか？」「音楽はどうやって聞いていますか？」などの質問に答えていきました。スピーチタイムでは、３年生と5年生の児童が事前に個別の時間に準備した「僕の好きなキャラクター紹介」「人工衛星について」、スライドなども用いて話しました。活動提案は4年生の児童が「紙コップタワー」を提案してくれました。ペアで作戦を相談しながら楽しみました。

★理解授業★

二小の１年生と2年生全クラスを対象にこだま学級の理解授業を行いました。

１年生は、通級(大空教室・こだま学級)探検で、こだま学級の各部屋を回って、二重窓やじゅうたんなど、自分たちの教室との違いを見つけたり、言葉の学習を体験したりしました。

２年生は、クイズでこだま学級について知ったり、口の運動を体験したり、カやサなどの音を発音するための口や舌の動きを学習したりしました。言葉だけの説明で担任の先生に手本と同じ絵を描いてもらうお絵かき伝達ゲームでは、言葉で伝えることの難しさを実感していました。最後は、通級している児童の作文を紹介しました。自分が書いた作文をクラスで読んでくれた児童もいました。

通常の学習に加え、自分の苦手なことに向き合い取り組んでいる児童の大変さや頑張りが伝わってくれていたら、うれしいです。

～ 2学期の予定 ～

９月	３日（水）	通級指導開始
	１５日（月）	敬老の日
	２３日（火）	秋分の日
１０月	１３日（月）	スポーツの日
	１８日（土）	二小運動会
	２０日（月）	二小振替休業日
	２１日（火）	二小運動会予備日
		※場合によっては午前通級なし
	２３日（木）	保護者会　１０：００～１１：３０
１１月	３日（月）	文化の日
	１５日（土）	二小展覧会
	１７日（月）	二小振替休業日
	２１日（金）	入級委員会
		※午前通級なし
	２４日（月）	振替休日
１２月	２日（火）	２学期　個別指導終了
	３日（水）	全体グループ学習　　１５：１５～１６：３０
	１０日（水）	吃音グループ学習　　１５：１５～１６：３０
	１７日（水）	きこえグループ学習　１５：１５～１６：３０

保護者会のお知らせ

日時：１０月２３日（木）
　　１０：００～１１：３０
場所：こだまプレイルーム
内容：講演
「本を楽しむ、本で遊ぼう」
～豊かな心と言葉を育むために～
　図書館司書
　ノエル工房代表　和中　恵子先生

今月の特集

難聴のあるお子さんの行事における配慮

２学期は、どの学校でも様々な行事が予定されていることと思います。今回は、難聴のあるお子さんの行事における配慮についてお伝えいたします。ただし、一人一人聞こえにくさや分かりやすさ、助けになることは異なります。自分自身の聞こえについて振り返る良い機会ですので、どうしたらよいのか、学年に応じて是非お子さんと話題にしてみてください。

運動会

スタートの合図は、旗など見て分かる工夫をする。

隊形移動の練習は、初めに図で説明してから行う。

指示の合図は、ホイッスルだけでなく、見て分かるタンバリンや太鼓、手なども活用する。

ダンスは音源から遠く、音楽が聞こえにくい。見て分かるサインがあるとリズムに合わせやすい。また、周りの動きも見える位置だと安心。聴力に左右差がある場合は、聞きやすい方に音源があると良い。

補聴器は水に弱いので、こまめに汗を拭かせ、急な雨にも注意する。

学芸会

前の台詞を言う友達の口元が見える立ち位置だと、自分の台詞を言うタイミングが分かりやすい。

体育館での鑑賞は、舞台から遠いので聞きにくい。座席を前にしたり、事前に台本を読ませ、おおよその内容を把握させたりするのも良い。

音楽会

個々の聴力により、聞き取りやすい音は異なる。鍵盤ハーモニカや木琴、太鼓などは目で正しく演奏できたかどうかが分かりやすく，自信をもって取り組みやすい。

音の強弱やリズムが分かるように、記号やイラストなど視覚的に示す。

複数の音が聞こえている中では自分の楽器の音が聞こえにくいので、少し離れた静かなところで練習させる。

大きな音がしている中に長時間いることは、聴者以上に疲れる。「うるさい」と訴えてきたら、補聴器のボリューム調整ができる場合は下げさせたり、別室で休ませたりする。

歌や演奏のスタートが分かるように、指揮者が出だしの合図を送る。

合唱や合奏で音を外してしまうことがあっても、からかいなどがないような雰囲気作りをし、音楽を楽しみたいという気持ちを育んでいけるようにする。

参考文献：難聴児・生徒理解ハンドブック（学苑社）
聴覚障害のある児童のための音楽指導資料（文部科学省）